

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス きらら守口

支援プログラム(放課後等デイサービス)

作成日

2025年

2月

20日

法人(事業所)理念	私たちはすべての人に寄り添い、特性や個性を理解尊重し、人々に信頼され、地域社会とともに発展し、地域に根ざしたなくてはならない法人を目指しています。さらに社員が自信と喜びに満ち、想像すること・挑戦することを誇りとし、人々の豊かな未来への架け橋となるような活動に取り組む法人を目指しています。						
支援方針	子どもたち一人一人の障がい特性や環境、年齢や学年、その他ライフステージの変化など、子どもたち周辺の様々なことを考量・配慮し、各分野の専門家などがその時々に応じた最適な支援をコーディネートする。						
営業時間	9時	30分	18時	30分	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して過ごせるように、その日のスケジュールや物を片付ける場所など視覚支援で分かりやすく伝えていきます。 ・自立に向けて、着脱衣・排泄・食事などの基本的な生活習慣を獲得できるように支援を行っていきます。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・作業療法士による個別支援などを通して、指先などの使い方(微細運動)や身体を大きく動かす(粗大運動)などの支援を室内や近隣の公園などで行っていきます。 ・お弁当などや日々の排泄時などにお子様の現在の様子を把握しながら、個別にあった方法を考慮しながら支援を行っていきます。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・色・形・数量などの概念を知育玩具やボードゲームなどを用いて遊びながら習得していきます。 ・活動のスタートのタイミングをタイムタイマーで知らせ、時間を意識して自ら行動することを支援していきます。 ・相手の気持ちを理解する前段階として自分の気持ちの理解のために、絵本のキャラクターなどを用いて自分の気持ちを他者に伝えることから行っていきます。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちを伝える、『手伝って』などの要求など普段の生活の中から伝えられるように、気持ちの整理を行うワークシートや視覚支援などを用いて、自分の気持ちを表現できるように支援していきます。 ・余暇の時間にはお友だちを遊びに誘ったり、断りを入れる際にも『後でならあそべるよ』『一人で遊びたい』など明確な理由を伝えるように助言など行っていきます。 ・トレーニングの際にも、ロールプレイングなどで職員が『良い例』と『悪い例』を行っている様子を見せたり、どこが違うのかなど考え、実践をして経験を積んでもらいます。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団での活動で、順番を守る・ルールを守る・他者との協力・負けを受け止めるなどの社会性をつける機会を作ります。 ・ごっこ遊びなどでも役割やルールに応じた行動を身につけて、集団の中に入っていき練習などを行っていきます。 					
家族支援	療育内容のフィードバックや連絡帳を通して保護者の皆様とのコミュニケーションを図っています。また、年に2回の面談以外にも電話による日々の困りごとへの相談、進路などの相談等も随時行っています。希望される方にはペアレントトレーニングなども行っています。	移行支援	保育園や学校でのお子様の様子などを学校の先生から情報共有や、他事業所との情報共有を行っています。				
地域支援・地域連携	お子さんの通っている保育園や学校、他の発達支援事業所などと情報を共有して連携を図ります。	職員の質の向上	毎年内部研修を行い、障がいへの理解を深めたり、新たな支援方法を学んだりしています。毎日のスタッフミーティングで現在の支援方針について検討し、お子さんや支援方法に関する情報を共有したり、職員の外部研修への参加を奨励し、職員全体に情報を共有して職員の質の向上を図っています。				
主な行事等	季節に合わせた活動(外出、調理活動、製作など)/避難訓練(地震津波・火災 年に2回)						